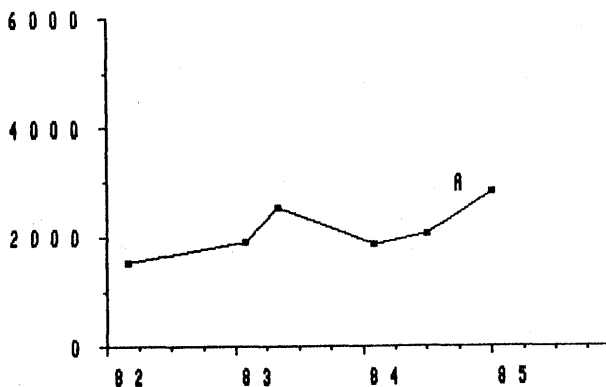


伊豆大島三原火口の熱的調査（1985年1月）*

東京大学地震研究所浅間火山観測所

前報¹⁾に続き1985年1月31日に三原火口の火口底および火口壁の表面温度分布調査を実施した。高温部のパターンは1984年7月の測定結果と同じ形状を示し、特に大きな変化は見られない。これまで報告してきた熱異常のうち西側テラスから観測される熱異常Aについて、表面温度が周辺の平常温度 T_0 より4℃以上高温となる部分の面積（映像上の画素数）を調べると、図1のように1982年以降増大の傾向が続いていることがわかる。その他の熱異常については現在解析中である。



第1図 熱異常の面積の時間的推移

Fig.1 Temporal variation of the area size of the thermal anomaly.

参考文献

- 1) 東京大学地震研究所浅間火山観測所・伊豆大島火山観測所（1985）：伊豆大島三原火口周辺の熱的調査（1984年7月），噴火予知連会報，**32**，14-17.

* Received Apr. 19, 1985